

「スローインおよびゴールキック時のカウントダウン実施手順」

はじめに

この実施手順は スローインおよびゴールキックにおける時間の浪費と試合のテンポの乱れを防ぐために、第15条および第16条に定められている**5秒のカウントダウン**に関するものである。時間制限を超えた場合、その再開は相手チームによって行われる。

進め方

スローインまたはゴールキックを行うチームが意図的に再開を遅らせていると主審が判断した時、

- 主審は、笛または声を使って競技者に再開を急がせる、あるいは遅らせないようにすることができる。
- **5秒のカウントダウン**を始めるにあたって(上記の合図なしに始めることもできる)、主審は、
 - 笛を吹く。
 - 再開を行うように手や腕を用いて明確に合図する。
 - 手を上げて目で見てわかるように**5秒からカウントダウン**する。この目でみてわかるカウントダウンは、必要に応じて同時に声を出して行うこともできる。
- **5秒のカウントダウン**の終了時にボールがインプレーになっていない場合、主審は、
 - 元のスローインと同じ位置から行われるスローインを相手チームに与える。または、
 - ゴールキックが行われようとしていた位置に最も近い側から行われるコーナーキックを相手チームに与える。
- 再開が相手チームに与えられる場合、その競技者または味方競技者がその後、さらに再開を過度に遅らせた場合にのみ警告される(イエローカード)。

主審は、5秒のカウントダウンを始めるのに競技者がボールを保持するのを待つ必要はない。競技者が、次のように意図的に再開を遅らせている場合でも、カウントダウンを始めることができる。

- ボールをゆっくり取りに行く
- スローインのときに正しくない位置をとる
- ゴールキックのときにボールを正しくない位置に置く

カウントダウンの目的は、スローインおよびゴールキックのときの時間の浪費を防止することで試合のテンポを維持することである。そのため、カウントダウンが終了するときに、競技者がボールを投げようと、または蹴ろうとした場合、罰せられるべきではない。